

**あけましておめでとうございます** 旧年中は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます  
 本年も何卒よろしくお祝い申し上げます

**新年会 ご予約 承り中!!**

スポーツ少年団の懇親会や同窓会・ご家族でのお祝いごとにも!!

**料金表**

- ◆大人（2時間飲み放題付）**4,500円**（税込）
- ◆大人（料理のみ）**2,500円**（税込）
- ◆お子様（中学生・小学生）**1,500円**（税込）

**料理内容**

- ・お子様 → 名物塩からあげ定食
- ・大人 → 豪快おつくり盛り（一人前ずつ）・旬の一人鍋  
 小鉢・焼物・揚げ物・海鮮丼・みそ汁

※コース料理は前日までのご予約をお願いします。【15:30～21:00】

超炭酸ハイボール 生搾りレモンサワーも 各種飲み放題!!

子供用、大人用の ソフトドリンク 持ち込み OKです!!

私たちは 子供たちの夢を 応援しております!!

道の駅たるみずはまびら Farm to Table TARUMIZU 垂水市浜平 2036 番地6  
 【貸切 45名 最大 100名様まで】 TEL. 0994-32-1155

**新年会 ご予約 承り中!!**

ご家族大歓迎!! やっぱり焼肉でしよ!!

スポーツ少年団の懇親会や同窓会・ご家族でのお祝いごとにも

超炭酸ハイボール 生搾りレモンサワーも 各種飲み放題!!

- ◆大人（飲み放題付）**4,800円**（税込）
- ◆大人（料理のみ）**2,800円**（税込）
- ◆お子様（中学生・小学生）**1,800円**（税込）

飲み放題 2時間

ごはん・スープ付

ごはん・スープ おかわり自由

営業時間の変更

【平日・日曜日】18:00～21:00まで  
 【金・土】18:00～21:30まで

※料理内容…モツ鍋・ナムルの盛り合わせサラダ・Yoshiカルビとお肉6種・シメの油そば

※お料理のみ又、お子様のソフトドリンク持ち込みOKです!!

**大衆焼肉 よし** 垂水市上町127番 TEL. 0994-32-1715

**垂水を一緒に盛り上げてみませんか?**

- ★垂水の豊かな食材を学びたい方
- ★観光やインバウンド、おもてなしをやりたい方
- ★新店舗オープンまでの経験をしたい方
- ★コミュニケーション強化中!! 月1の食事会等あり!
- ★英語が話せる方
- ★共に地域を盛り上げたい方
- ★学生さん、将来飲食店をやりたい方
- ★短時間、フルタイム勤務も可能!!
- ★空いてる時間を有効に使いたい方
- ★晩ごはんのお刺身安く買えます
- ★美味しいまかない付き
- ★毎日海鮮丼食べれます
- ★主婦の方大歓迎!!
- ★お料理のレシピ教えます
- ★週1～週2も大歓迎!!

時給 **950円～1,200円**

★Farm to Table TARUMIZU ★大衆焼肉 よし

時間 10:00～15:00の間 時間 17:30～21:00  
 17:00～19:00 18:00～21:00  
 19:00～21:00

※詳細は面談のうえ、優遇いたします。

TEL. 0994-32-1155 【担当：浅井】

# 明治の先覚者

## 町田一平翁

**町田一平翁**

旧垂水フェリーの駐車場の奥まった一角に「第6垂水丸遭難者慰霊碑」が建っています。そこから数メートル東側の広場に、海を見つめている町田一平翁の胸像があります。

町田一平翁は明治3年、現在の垂水高校にあった町田邸で、案山子の長男として生まれました。父である案山子は、垂水島津家筆頭家老で13代目にあたり、戊辰の役にも隊長として参戦しました。

一平翁は垂水小学校で神童とよばれ、鹿児島造士館へ進学し、こ

こでも成績優秀・運動能力に長け、陸上・野球で活躍しました。明治22年に入学した現在の東大農学部では、野球でも名を残しています。卒業後は垂水市に帰り、温州みかんの栽培など農業改革に取り組み、25歳で垂水農会初代会長、32歳で郡会議員、37歳で議長をつとめました。

また、明治33年には鹿児島にあった簡易農学校を鹿屋に移し、現在の鹿屋農高を誘致しました。

### 鹿児島市と大隅半島を結ぶ

大正7年、自ら作った発動機船

を垂水・鹿児島間に就航させ、大正10年には、定期航路を実現しました。昭和5年に垂水汽船会社となり、垂水・鹿児島間を50分で結び、大隅半島の人々の生活や文化が大きく発展しました。

しかし昭和19年、太平洋戦争末期に第6垂水丸が沈没、540名余りの人々が亡くなりました。被害者への補償などで一時経営は厳しくなりましたが、息子の峻氏が社長に就任し、その後、昭和35年南海郵船となり、昭和49年からは垂水フェリーが就航しました。

一平翁は、昭和20年に74歳で亡くなり、昭和45年に功績を顕彰するため、現在の場所に胸像が建てられました。

### 町田一平翁の逸話

一平翁の息子、四郎氏は垂水市教育長、そして垂水市長を二期つとめました。

近年、四郎氏の娘さんから直接聞いた一平翁の逸話として、一平翁が東京から結婚相手を伴って帰省しましたが、家柄が合わないと言われ、東京に帰ることとなり、一か月余りの時間をかけ、船旅で別れを惜しんだといわれています。

垂水島津家筆頭家老という家柄の長男の結婚は、本人の意思より、家と家の繋がりが優先されました。

町田家の屋敷は、垂水麓の中心にありましたが、現在は更地となつています。

【参考資料】  
 『ふるさとの歴史（垂水市垂水編）改訂版』  
 （平成十七年九月十七日発行）



▲町田一平翁の胸像

（垂水市文化財保護審議員・川崎あき子）